

## 第1号議案

### 令和4年度 事業報告承認の件

#### I 評議員会・理事会・評議員選定委員会開催状況

##### 1 評議員会開催状況

開催年月日	場 所	議 決 事 項
令和4年 6月29日	ひょうご女性 交流館501号室	1 令和3年度決算報告承認の件
令和5年 3月28日	男女共同参画 センター セミナー室	1 補欠役員の選任の件

##### 2 理事会開催状況

開催年月日	場 所	議 決 事 項
令和4年 4月1日	— (書面表決)	1 理事長及び業務執行理事の報酬額決定の件 2 評議員選定委員会委員の選任の件
令和4年 6月10日	いなみ野学園 地活教室3	1 令和3年度事業報告承認の件 2 令和3年度決算報告承認の件 3 評議員会招集の件
令和5年 3月9日	いなみ野学園 中教室	1 令和5年度事業計画承認の件 2 令和5年度収支予算承認の件 3 令和4年度収支補正予算承認の件 4 評議員会招集の件

##### 3 評議員選定委員会開催状況

開催年月日	場 所	議 決 事 項
令和4年 4月28日	— (書面表決)	1 補欠評議員の選任の件 2 議事録署名人の選任の件

## II 事業実施報告

「県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点」の実現に向けて、地域社会を支える学びの支援、多様な交流・連携による学び・地域づくりの支援等に取り組みました。

新型コロナウイルス感染拡大が未だ収束しない中、令和4年度においても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に十分留意しつつ、ポストコロナ社会を見据え、ICTの活用を一層推進し、安心安全な環境整備に配慮した高齢者等の学びのニーズに対応するとともに、当協会の経営の健全性の確保に向け、次の点に重点を置いた事業展開を図りました。

### 1 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた適切な対応

「新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針」に基づき、県関係部局とも連絡を密にし、高齢者大学をはじめとする各種講座や諸事業、指定管理施設の運営等について、感染状況の推移に応じて、感染拡大防止のための対策の実施に機動的かつ適時適切に取り組みました。

### 2 生涯活躍を目指す学びの支援

#### (1) ICTを活用した講座の充実と学びの継続

ICTを活用し、いなみ野学園他4学園でのオンラインによる共通（教養）講座を複数回合同開催し、著名な講師を招くなど魅力ある講座を実現するとともに、休校になった場合でも、動画配信等による在宅学習に取り組み、学びの継続の確保に努めました。

#### (2) 高齢者放送大学受講資格の拡大

令和4年度からは、年齢・居住地要件を撤廃し、ラジオ講座による学習に意欲のある人なら誰でも参加できるように制度を改正するとともに、コロナ禍においても「自宅に居ながら学べる」特長を活かし、多世代が興味・関心を持つプログラムを広く発信していきましました。

#### (3) いなみ野学園短期集中講座の実施

通年ではなく短期間の講座へのニーズを踏まえ、いなみ野学園の休園日などの学舎を活用し、くらしに役立つ趣味・知識等の分野の講座や、生活支援分野において活躍するために必要な基礎知識を習得するための講座など、短期集中講座（有料制・複数回開催）を実施しました。

### 3 経営改善の推進

県の公社等のあり方についての見直しを見据えつつ、健全な財務基盤の確立にむけ、実施事業の見直し、経営効率化にむけた取組みを進めました。

# 令和4年度事業体系表

地域社会を支える学びの支援

## 1 生涯学習・地域づくり活動の総合的推進・支援

### (1)生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施

- ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営（協会本部）
- 生涯学習リーダーバンクの運営（協会本部）
- 生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施（協会本部）
- 生涯学習情報コーナーの運営（協会本部）
- ウィズコロナ、ポストコロナの公民館利用など生涯学習に関する調査研究の実施（協会本部）
- 生涯学習情報の収集と提供（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

### (2)あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座等の実施

- 生涯学習公開講座（協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路）
- いなみ野学園多世代交流応援プロジェクトの実施（協会本部 いなみ野）
- いなみ野学園短期集中講座の実施（協会本部）

### (3)生活創造活動グループに対する支援

- 生活創造情報プラザ（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

### (4)生涯学習関係機関職員研修の実施

- 社会教育関係職員等研修（協会本部）

### (5)ふるさとひょうご創生塾の実施

- ふるさとひょうご創生塾（協会本部）

## 2 地域社会を支える高齢者の学びの支援

### (1)高齢者大学事業の充実

いなみ野学園	4年制大学講座、陶芸学科専修コース、大学院講座、研究生制度、聴講生制度、地域活動支援センター、学園運営等各種サポーター
阪神 シニアカレッジ	4年制大学講座、阪神ひと・まち創造講座、聴講生制度、地域活動支援センター
うれしの学園生涯大学（嬉野台）	4年制大学講座、大学院講座
みてやま学園（但馬文教府）	4年制大学講座、大学院講座
ゆうゆう学園（西播磨）	4年制大学講座、大学院講座
いざなぎ学園（淡路）	4年制大学講座、大学院講座

### (2)高齢者放送大学事業の実施

- 高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）
- ラジオカレッジサポーター

### (3)高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

- シニアニュースポーツ（協会本部）、全国健康福祉祭（ねんりんピック）

## 3 未来を担う青少年の育成

### (1)生きる力を育む体験教育の実施

嬉野台生涯教育センター	ひょうご冒険教育（HAP）、セミナー・講習会、野外活動指導者養成講座、全県野外活動フォーラム、うれしの台ユースセミナー、うれしの台親子DAYキャンプ【新規】、学校の学習活動
但馬文教府	小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」発行、科学する但馬の子ども作品展、研究集録発行、科学チャレンジin但馬文教府、ふれあい親子交流フェスタ（仮称）【新規】、学校の学習活動
西播磨文化会館	にしはりまキッズフェスタ、プレーパークの支援、学校の学習活動
淡路文化会館	国生みの島元気っ子フェスティバル

### (2)ふるさと意識の醸成

- 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」発行【再掲】（但馬）
- にしはりまキッズフェスタ【再掲】（西播磨）
- 国生みの島元気っ子フェスティバル【再掲】（淡路）

多様な交流・連携による学び・地域づくりの支援

4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

- 大学等学校教育機関との連携 (協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
- 公民館等市町関係機関との連携 (協会本部)
- 博物館等社会教育機関との連携 (協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、淡路)
- 自治会等各種地域団体との連携 (いなみ野、西播磨)
- 高齢者大学等関係組織との連携  
(創生塾、いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
- 広域ネットワーク組織との連携  
(協会本部、創生塾、いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
- NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携 (いなみ野、阪神)
- 各施設の魅力を生かした地域住民との交流 (いなみ野、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)

5 地域団体等の参画と協働による地域文化活動の支援

(1) 地域文化事業の実施

- 嬉野台生涯教育センター  
うれしの春のフェスティバル、うれしのまるごとギャラリー、東はりまみんよう大会、東はりま大茶会、東はりま芸能祭、東はりまコーラス大会、東播磨選抜美術展、「東はりま子午線」の発行、東播磨の地域文化を考える会
- 但馬文教府  
但馬美術展、ふるさとの心をうたう但馬合唱祭、但馬歴史講演会、但馬文学のつどい、「たじま作品集」の発行、但馬ふるさと芸術文化祭
- 西播磨文化会館  
播州段文音頭大会、播州段文音頭教室、ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭、西播磨ふるさと写真展、西播磨短歌祭、西播磨俳句祭、西播磨ふるさと文化祭、播磨「歴史・地域学」講座
- 淡路文化会館  
淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会、淡路島ココだけの文化祭、淡路日本画セミナー、淡路洋画セミナー、全淡短歌祭、淡路島俳句大会、淡路文学作品展、兵庫県地域文化を考えるシンポジウム

(2) 文化会館等の特性を生かした利用促進

- 地域文化活動の支援 (嬉野台、但馬、西播磨、淡路)

6 文化・芸術活動の拠点としての機能強化

(1) 但馬文教府「ふるさと交流館」の活用

(2) 淡路文化会館創立50周年記念事業の実施【新規】

7 経営の健全性・透明性の確保

(1) 安定した収入の確保

- 高齢者大学等入学者の確保、適正な受益者負担の徴収、寄附募集の推進、オープンキャンパス (いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
- 高齢者手づくりの店、高齢者園芸センター、高齢者陶芸の村、貸館の試行実施 (協会本部)

(2) 施設の改修による利便性等の向上

- 利用者増を図るための計画的な施設改修

(3) 職員の適正配置等による運営体制の整備

- 施設の効率的運営の推進 (協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)

(4) 協会事業の透明性確保・広報の充実

- 協会事業の見える化 (協会本部)
- マスメディアとの連携 (協会本部、いなみ野)
- いなみ野学園情報番組の制作・発信 (協会本部、いなみ野)
- ホームページの運営 (いなみ野、創生塾、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)

(5) 経営改善の推進

8 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた適切な対応

経営の健全性・透明性の確保等

※ 実施機関 (協会本部) 兵庫県生きがい創造協会 総務部・生涯学習部 (創生塾) ふるさとひょうご創生塾 (いなみ野) 兵庫県いなみ野学園 (放送大) 兵庫県高齢者放送大学 (阪神) 阪神シニアカレッジ (嬉野台) 嬉野台生涯教育センター (但馬) 但馬文教府 (西播磨) 西播磨文化会館 (淡路) 淡路文化会館

### Ⅲ 事業実施状況

※中項目または事業名の後の（ ）は実施機関

#### 1 生涯学習・地域づくり活動の総合的推進・支援

##### (1) 生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施

###### ①ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営（協会本部）

教育機関・民間企業・行政等様々な生涯学習機関と連携し、多彩で幅広い生涯学習情報を提供するウェブサイト「ひょうごインターキャンパス」を運営しました。

参画機関数	473	
アクセス数	288 千件	月平均 24 千件

###### ②生涯学習リーダーバンクの運営（協会本部）

生涯学習で得た知識・技能を生かし、ボランティア指導者として学習グループ等の活動支援をしようとするふるさとひょうご創生塾卒塾生やいなみ野学園研究生の新たな登録を促進するとともに、その利用促進を図り、学びの社会還元を推進しました。

バンク登録人数：194名

###### ③生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施（協会本部）

市町や生涯学習関係機関が抱える課題の解決を支援する生涯学習推進アドバイザー派遣事業を実施しました。

派遣件数：29件

###### ④生涯学習情報コーナーの運営（協会本部）

講座、資格、施設、イベント等に関するチラシ、パンフレット、冊子等をそろえ、各種の生涯学習情報を提供するとともに、生涯学習に関する相談に応えました。

相談件数：78件

○生涯学習情報コーナー（ハーバーランド庁舎6階）

開館日時：月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）9:00～17:15

電話番号：078-360-9015

※令和5年3月をもって神戸ハーバーランド庁舎の生涯学習情報コーナーを閉鎖し、生涯学習情報提供・相談機能を協会本部に移転しました。

###### ⑤ウイズコロナ、ポストコロナにおける公民館利用など生涯学習に関する調査研究の実施（協会本部）

県民の生涯学習に資する公民館等の効果的な運営・事業展開に向け、基礎資料を提供するため、新型コロナウイルスとの共存時代における公民館等の実態調査及び従来から公民館等運営の大きな課題の一つとされている公民館等と学校組織等の連携（コロナ禍以前にアンケート調査を行った令和元年度との対比）について、調査研究を実施しました。

(1) 調査対象： 兵庫県内の公民館・類似施設 298 施設（回答数 171 施設：57.4%）

(2) 調査時期： 令和4年7月20日～8月31日

(3) 概要： I 新型コロナウイルスとの共存時代における公民館等の実態調査

令和2年度～令和4年度調査時までの時期、公民館等の運営上、工夫した項

目は、感染症防止・人数制限対策が突出しています（広報誌面活用、ICT活用が進んだと認識する館は少数）。同様に、コロナ禍だからこそ促進できたことも、感染症備品整備が突出しています。一方、事業の取捨選択、Wi-Fi整備やオンライン会議も促進できたと認識。さらに、課題と認識する事は、感染対策がトップながら、講座・イベント参加者確保、市民の対面活動意欲の減退傾向に加え、ICT化人材・経費不足が続きます。記述式回答では、館員の事業実施ノウハウ継承を上げる館もありました。

## II 公民館等と学校組織等の連携（令和元年度との対比）

コロナ禍前（令和元年）と比べ公民館と学校組織等との連携では、全体としては、51%（元年）、40%（令和2～3年度）、48%（今回）と回復傾向にあります。

これを、学校種別に見ると、高校生以上は、24%（元年）から今回（8%）と減少し戻っていない一方、小中学校は、23%から35%と連携が却って強化されています。小中学校と高校以上の物理的距離によるものと思われる。

公民館の今後の若者層との連携希望を見ると、前回以上に連携を望んでいる（72%→83%）ところ、いち早く活動が再開した近隣の小中学校のように、高校以上での連携も今後、戻っていくものと思われる。

### ⑥生涯学習情報の収集と提供（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

- ・ 県民の生涯学習を支えるため、生活創造情報プラザにおいて、市町等が発行するイベント等情報刊行物をはじめとした生涯学習に関する情報を収集し、提供しました。
- ・ 但馬文庫  
但馬文教府が所蔵する図書、とりわけ但馬に関する多くの文献を多く収集しており、広く一般の閲覧に供しました。
- ・ 西播磨文化会館情報交流サロン  
山城などの地域の歴史・文化に関する図書を収集し、広く一般の閲覧に供しました。
- ・ 淡路文化会館ライブラリー  
淡路文化会館が所有する図書、資料、視聴覚資料等を閲覧、貸出に供するとともに、ホームページで公開するなどして広く一般の利用に提供しました。

## (2) あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座の実施

### ①生涯学習公開講座

現役世代を含むあらゆる世代の生涯学習に対する意識の高揚を図るため、生涯学習公開講座を開催しました。

開催場所 (高齢者大学名)	講座内容	開催日・参加者数
いなみ野学園 (いなみ野学園・生涯学習部)	「未知への航海 ～人生100年時代の挑戦～」 講師: ヨットマン・海洋冒険家 堀江 謙一	開催日: 令和4年12月4日 参加者数: 361名

阪神健康交流センター (阪神シニアカレッジ)	「阪神間と温泉文化」 講師：阪神シニアカレッジ学長 田辺真人	開催日：令和4年8月3日 参加者数：120名
	「クリスマスふれあいコンサート」 NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは 若手演奏家4名	開催日：令和4年12月22日 参加者数：100名
嬉野台生涯教育センター (うれしの学園)	「心豊かに生きる」 講師：大本山須磨寺(神戸市) 寺務長 小池 陽人	開催日：令和4年11月8日 参加者数：180名
但馬文教府 (みてやま学園)	「演劇によるまちづくり～芸術文化観光専門職大学が目指すもの～」 講師：芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ	開催日：令和4年5月13日 参加者数：129名
	「サイレント映画入門～温故知新エンタメ・活弁の世界～」 講師：活動写真弁士 大森くみこ	開催日：令和4年7月15日 参加者数：134名
	「高齢者とみんなでつくる地域防災～住民主体の防災計画の取り組み～」 講師：立命館大学歴史都市防災研究所 所長 大窪 健之	開催日：令和4年8月19日 参加者数：127名
	「「老子」について」 講師：元県立高校校長 田中 哲也	開催日：令和4年10月21日 参加者数：143名
	「近世後期における地域の文化交流～但馬と鳥取のつながり～」 講師：鳥取大学地域学部 学部長 岸本 覚	開催日：令和4年11月18日 参加者数：172名
	「知られざる素顔 冒険家植村直己の人生」 講師：植村直己冒険館 館長 吉谷 義奉	開催日：令和4年7月1日 参加者数：168名
西播磨文化会館 (ゆうゆう学園)	「大自然 大海原から教えられること」 講師：フリーアナウンサー 藤原 正美	開催日：令和4年8月26日 参加者数：161名
	「山城を歩く ーその魅力の楽しみ方ー」 講師：滋賀県立大学 名誉教授 中井 均	開催日：令和5年1月20日 参加者数：149名
	「『死ぬときに後悔すること25』より生きるヒントをいただく」 講師：安楽寺 住職 佐々木 蓮乗	開催日：令和5年2月3日 参加者数：162名
	「家庭園芸から自給自足まで」 講師：庭暮らし研究所 代表 畑 明宏	開催日：令和5年3月4日 参加者数：102名
淡路文化会館 (いざなぎ学園)	「家庭園芸から自給自足まで」 講師：庭暮らし研究所 代表 畑 明宏	開催日：令和5年3月4日 参加者数：102名

② いなみ野学園多世代交流応援プロジェクトの実施（いなみ野）

いなみ野学園の休園日の学舎を活用し、学園生と地域の多世代住民がともに学び、交流するイベントを実施しました。

○親子陶芸教室

開催日：令和4年7月18日

参加者：加古川市内の小学生と保護者 30組60名

③ いなみ野学園短期集中講座の実施（協会本部）

通年ではなく、短期間の学習講座の開設に対するニーズも踏まえ、平日の午後やいなみ野学園の休園日などの学舎を活用し、家庭生活で役立つ趣味・知識等の分野について、広く県民を対象とした有料制の短期集中講座を実施しました。

講座名	講師	参加者数 (人)
①藤原正美の話し方講座 3回講座 4,500円/人(9月)	ラジオ関西パーソナリティー 藤原正美 氏	20
②くらしに役立つ!算数・数学 4回講座 6,000円/人(10月)	兵庫大学エクステンション・カレッジ講師 菅生安展 氏	20
③はじめての園芸 入門ミニ講座 3回講座 4,500円/人(12月)	いなみ野学園園芸学科 外部講師並びに 職員 計3人	21
④ひょうご文学散歩 4回講座 6,000円/人(1月)	兵庫教育大学大学院 元教授 廣岡 徹 氏	22
⑤剪定講習 2日間講座 受講料無料(3月)	いなみ野学園 園芸学科技術顧問 北井 学 氏	13
計		96

※⑤は兵庫県シルバー人材センター協会との共催事業として実施

(3) 生活創造活動グループに対する支援

① 生活創造情報プラザ

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動等、成熟社会にふさわしい豊かな生活を創造するための県民による主体的な活動(生活創造活動)の拠点施設として運営しました。

実施機関	内 容	開催日・参加者数
うれしの生活創造プラザ (嬉野台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活創造活動の促進 生活創造活動グループの活動を支援し、グループ間の相互交流を推進しました。</li> <li>・うれしの生活創造応援隊の育成と支援</li> <li>・生活創造しんぶん「ぐぐっと!北播磨」の発行 地域づくりボランティア団体として、くらしに関する情報を収集・発信しました。</li> <li>・ギャラリー展の開催 展示コーナーにおいて地域の情報や県民の学習成果の発表の場となるよう各種展示会を開催しました。</li> </ul>	通年 利用者数：11,190名  隊員数：20名 年3回(7月、11月、3月) 各3,000部発行  通年



<p>但馬生活創造情報プラザ (但馬)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活創造活動グループの育成支援 活動場所の提供、印刷機の利用などにより、自主グループの活動を支援しました。</li> <li>・みてやま市 みてやま学園学生や生活創造活動グループ等利用団体の活動を支援し、地域の方々の交流促進を目的とする市を開催し、賑わいを創出しました。</li> </ul>	<p>通年</p> <p>開催日：令和4年7月～12月 (計7回開催)</p>
<p>西播磨生活創造情報プラザ (西播磨)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西播磨生活創造活動グループ交流会 生活創造応援隊を中心に企画運営する「西播磨生活創造活動グループ交流会」において、生活創造活動グループの活動の相互交流及び情報交換の場を提供。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前・午後の2部制、観客は出演団体関係者のみで実施しました(ホームページで閲覧可)。</li> <li>・西播磨生活創造しんぶん「ネットめばえ」の発行 生活創造応援隊員が地域で活躍されている方々や地域の話題等を「ネットめばえ」で情報を提供し、地域の輪をひろげるとともに、企業協賛広告を募集し、財源の確保も行いました。</li> <li>・生活創造活動グループの育成支援 活動場所の提供、印刷機の利用などにより、自主グループの活動を支援しました。</li> <li>・生活創造活動グループと利用ニーズのマッチング 生活創造活動グループの「ボランティア活動情報」をホームページで公開し、利用者のニーズに応じたグループとのマッチングを行いました。</li> <li>・西播磨生活創造活動特技指導者「プチ匠」登録制度 西播磨地域の多彩な知識や技能を持つ人材を「プチ匠」として登録。ホームページで公開することにより地域の要望とマッチングを行い、さまざまな生活創造活動が生き生きと展開できるよう支援しました。</li> </ul>	<p>開催日：令和4年8月6日 場 所：西播磨文化会館 出演団体：18グループ</p> <p>隊員数：13名 年4回(5月・8月・11月・2月) 各3,000部発行</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>プチ匠登録者数：9名</p>
<p>淡路生活創造情報プラザ (淡路)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活創造活動グループの育成支援 活動場所の提供、印刷機の利用などにより、自主グループの活動を支援しました。</li> <li>・生活創造しんぶん「ポケットあわじ」の発行 地域で行われている生活創造活動や文化的な催しに関する情報を掲載した「生活創造しんぶん」をフルカラーA4判8頁で、毎月発行しました。</li> </ul>	<p>応援隊員数：18名 各3,500部発行</p>

#### (4) 生涯学習関係機関職員研修の実施

地域における学習拠点・活動拠点である公民館等の生涯学習関係機関の職員等を対象とする体系的な研修の機会を提供し、地域課題の解決に必要なファシリテート力、コーディネート力等を養成する研修等により、関係職員等の資質向上を図りました。

##### ① 新任社会教育関係職員等研修（協会本部）

新任社会教育関係職員として求められる社会教育に関する基礎的な知識や技能を習得するとともに、市町の枠を超えた人的ネットワークの構築を図るための研修を実施しました。

開催日：令和4年9月8日（木）

場 所：いなみ野学園（中教室）

参加者数：15名

##### ② 社会教育関係職員等スキルアップ研修（協会本部）

社会教育で行う事業の企画・運営の基本的な考え方を学び、現在、担当している事業を企画し、実践を通してフィードバックすることで、企画運営能力の向上を図るための研修を実施しました。

開催日：令和4年7月19日（火）、8月9日（火）、8月30日（火）、  
12月20日（火）

場 所：いなみ野学園（大教室及び中教室）

参加者延数：35名

##### ③ 社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修（協会本部）

社会教育主管課長や公民館長を対象に、国・県の施策等社会教育・生涯学習の動向を学ぶとともに研究協議を行い、管理職の立場から事業の計画・運営能力を図るための研修を実施しました。

開催日：令和4年6月2日（木）

場 所：兵庫県いなみ野学園（中教室）

参加者数：12名

#### (5) ふるさとひょうご創生塾の実施

活力あるふるさと兵庫の実現のため、多世代（価値観の異なる青年、壮年、老年）が学び、県政との協働による自主自律の地域づくり活動の新しい地域リーダーを養成するふるさとひょうご創生塾を開設し、運営しました。

なお、創生塾は、地域づくり活動に積極的に関わる人材を養成する場として平成8年度に開設以来、これまで多くの卒業生を輩出してきましたが、最近の入塾生の減少や他の人材養成の場の充実等の状況を踏まえ、一定の役割を終えたと考えられることから、令和4年度の募集は行わず、第25期生が卒塾する令和4年度末をもって閉塾としました。

① 2年次の塾の内容

対象者	第25期生のうち、2年次の講座の受講を希望した者（10人）
授業日等	土曜日（毎月2日程度）
カリキュラム	・実践活動の企画、実施 ・地域づくりや市民活動に必要な知識等を学ぶ講座
学習場所	神戸クリスタルタワー内セミナー室
受講料	年間 30,000 円
運営体制	学識経験者、実践家による企画運営委員会がカリキュラムを検討するほか、塾生の実践活動に対して適宜直接指導します。

② 実践活動の内容

塾生 10 人が 3 つのグループに分かれ、企画運営委員等の指導、助言を受けながら具体的な地域課題に着目し、実践活動の企画、実践を行いました。

グループ名	企画意図	実践活動の概要
ちえのわ	〔ふれあい通り甲南三番街まつり〕 地域の間関係が希薄になり、地域の様々な問題を共有したり、解決したりする場を持つことが難しくなっている。住民同士が知り合って、子どもから大人まで地域住民みんなが育ちあえる場をつくりたいと考えた。	こどもの育成支援活動をしている「こども料理教室おかず寺子屋」と共催で、「カレーとカップケーキ作りと販売」「工作体験」「くじ引き+ゲームコーナー」の3つからなる「ふれあい通り甲南三番街まつり」を開催した。
一期一会	〔地域における在住外国人の居場所作り〕 神戸市には多くの在住外国人がいるが、孤独感を抱えて生活している人が多い。在住外国人と日本人が違いを認め、お互いの特性、習慣を認め合う関係性を築くきっかけとして、防災をテーマとしたワークショップを開催することとした。	南海トラフ地震が今後 40 年の間に 90% の確率で発生すると言われ、在住外国人にも日本人にも関心が高いと思われる防災をテーマにワークショップを開催し、外国人と日本人が気軽に交流を続けられる土壌をつくるきっかけとした。
Team Love	〔ふるさと創生フェスの開催〕 人と人をつなぎ、コミュニティを担う地域の核となる人材が不足する中、地域づくりの理念や技法を学んだふるさとひょうご創生塾の卒塾生への期待は高まっていると考える。いま一度卒塾生が地域活動の舞台に踏み出し、活躍するきっかけづくりができないかと考えた。	卒塾後、地域活動のリーダーとして活躍している卒塾生によってパネルディスカッションを開催した。地域づくりにとって「人と人とのつながりがいかに重要か」「なぜ、卒塾生は十分に能力を生かせていないのか」「第 25 期生に対して何かアドバイスは」などのテーマで熱心に議論が交わされ、その模様は YouTube でも配信した。

## 2 地域社会を支える高齢者の学びの支援

### (1) 高齢者大学事業の充実

- ・幅広い教養の涵養やクラブ活動を通じた仲間づくりなど、引き続き高齢者の生きがいを支援するとともに、学習成果を地域社会で生かす取組みを強化するなど、高齢者大学事業の充実を図りました。
- ・いなみ野学園、阪神シニアカレッジ及び各地域高齢者大学は、立地する地域の特色、施設の状況、学生の学習ニーズ等を踏まえ、それぞれの個性をより生かした先進的な講座運営等を目指しました。
- ・ICTを活用し、いなみ野学園と阪神シニアカレッジの共通（教養）講座をオンラインにより合同開講し、著名な講師を招くなど魅力ある講座を実現できるようにしました。また、いなみ野学園では、休校となった場合においても、動画配信等による学びの継続が確保できるようにしました。

#### ① いなみ野学園

##### ア いなみ野学園大学講座

令和3年4月から入学資格を見直したことにより再入学生が増えていることにも配慮しながら、講義内容や実技実習の充実を図るとともに、陶芸に関する一定の技能を持っておられる方を対象にした陶芸学科専修コースの魅力向上にも努めたところであります。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大期であっても学びの継続を確保するため、ICTの活用にも積極的に取り組むなど、時代に対応した高齢者の学びの場づくりを進めてきました。

(令和4年5月1日現在、以下同じ)

学 科	園芸	健康づくり	文化	陶芸	計	定員
1年	48名	69名	105名	29名	251名	340名
2年	50名	47名	87名	19名	203名	340名
3年	42名	32名	47名	7名	128名	340名
4年	33名	64名	47名	9名	153名	340名
計	173名	212名	286名	64名	735名	1,360名

【参考】令和5年度入学者

1年	64名	83名	81名	15名	243名	340名
----	-----	-----	-----	-----	------	------

※ 陶芸学科専修コース入学者（上記表の外数）

令和3年度19名、令和4年度33名、令和5年度34名

##### イ いなみ野学園大学院講座

高齢者大学講座等で学んできた知識や技能を掘り下げ、個人や地域の力を再発見することにより、地域での活動をはじめ、地域づくりに役立つさまざまな活動の手法を学びました。

学科	地域づくり研究科				計	定員
1年	48名				48名	50名
コース	歴史・文化	健康・福祉	環境・地域	景観園芸	*1年2学期より コース分け	
2年	31名	4名	12名	3名	50名	50名
計	—				98名	100名

【参考】令和5年度入学者

1年	53名	53名	50名
----	-----	-----	-----

## ウ 研究生制度

高齢者大学の卒業生を活用した生涯学習指導者の養成を図るため、いなみ野学園大学院講座修了者を対象に、生涯学習指導者としての研究及び実践活動を行う研究生制度を運営しました。

R4 新規認定者数：14名 現認定者数：79名

兵庫大学エクステンションカレッジや公民館等での講座において講話等活躍

## エ 聴講生制度

いなみ野学園高齢者大学の講座の一部を公開し、地域づくりについて学ぶきっかけづくりや実践活動の充実につなげました。

さらに「人生100年時代」に対して退職後の生き方を考える世代（退職準備世代）に学びの場を提供し、就業・介護等の事情から高齢者大学への入学が困難な層にも学習の機会を提供しました。

令和3年度から、現役学生について、従来聴講できなかった他学年の共通講座及び同一学科の専門講座の聴講を可能としました。

・受講料（1講座あたり） 学生・卒業生 1,300円、一般 1,500円

聴講生制度の対象者	学習意欲のある方（年齢制限、居住制限なし）	
聴講対象講座	共通講座及び各専門学科講座 ただし、教室の収容能力を超える場合やグループ学習等聴講になじまない講座（講座日程表の講座ごとに聴講の可否を表示）は対象外	
受講料 （資料代等の 実費）	いなみ野学園の学生・卒業生	1講座あたり 1,300円
	いなみ野学園の学生・卒業生以外の者	1講座あたり 1,500円
聴講生数	延べ46人 収入額 65,400円	

## オ 地域活動支援センター

卒業生等へのボランティア情報提供やボランティアグループの活動を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進するとともに、地域づくり活動グループの活動発表・意識啓発の場として、「地域活動のとびら」（R5.2.3 163人）を開催しました。

また、卒業生等によるボランティアグループが、福祉施設での傾聴活動やふれあい

喫茶の運営など、地域活動を展開するとともに、大学院講座を修了した研究生は、特任講師として地域の生涯学習講座、公民館等で講演を行いました。

・R4ボランティア活動実績：975件 登録グループ数：25団体

## カ 学園運営等サポーター

高齢者大学の講座運営等を支援する高齢者大学等運営サポーターを募集、登録し、高齢者大学卒業生等の学習成果を活かしていくとともに、高齢者大学等の活性化を図りました。

[学園運営サポーター]

種 別	内 容	活動実績
(講座等)運営サポーター (5名)	大学院や大学の講座における円滑な講座運営のための講座補助業務 〔採用対象〕 研究生	延べ 195日
地域活動支援センター運営サポーター (4名)	学生等による地域活動を企画し、その実践を支援 〔採用対象〕 研究生	延べ 13.5日
学園広報サポーター (8名)	CATV番組や広報ビデオ、名刺の制作 〔採用対象〕 研究生	延べ 100日
みどりのサポーター (30名)	「いなみ野ガーデニングの日」に学園敷地内の植栽管理活動の実施 〔採用対象〕 いなみ野学園卒業生	延べ 4日

## ② 阪神シニアカレッジ

### ア 阪神シニアカレッジ大学講座

高齢者が生涯学習を通して教養をより高めるとともに、「生涯現役」として創造的に生きるための多彩なプログラムを提供しました。

学年	園芸	健康	国際理解	計	定員
1年	45名	60名	60名	165名	150名
2年	33名	57名	62名	152名	150名
3年	39名	44名	53名	136名	150名
4年	42名	47名	44名	133名	150名
計	159名	208名	219名	586名	600名

【参考】令和5年度入学者

1年	44名	60名	60名	164名	150名
----	-----	-----	-----	------	------

### イ 阪神ひと・まち創造講座

地域社会等での人間関係・コミュニケーションを改めて学び、あわせて阪神地域の歴史・文化・産業・自然などの魅力や課題を再認識することで、地域への愛着をもったコミュニティ活動等への意欲の醸成とコミュニティの活性化をめざしました。

[阪神ひと・まち創造講座(2年制)]

学年	1年	2年	計
在籍者数	29名	29名	58名

【参考】令和5年度入学者 1年 30名(各学年定員30名)

## ウ 聴講生制度

大学講座の一部を公開し、カレッジライフの楽しさを体験していただき、学生募集時に募集要項を送付するなど学生の確保につなげました。

聴講生制度の対象者	学習意欲のある方(年齢制限、居住制限なし)		
聴講対象講座	共通講座及び各専門学科講座 ただし、教室の収容能力を超える場合やグループ学習等聴講になじまない講座(講座日程表の講座ごとに聴講の可否を表示)は対象外		
聴講料(資料代等の実費)	阪神シニアカレッジの学生・卒業生	1講座あたり	1,300円
	阪神シニアカレッジの学生・卒業生以外の者	1講座あたり	1,500円
聴講生数	延べ687名 収入額1,004,700円		

## エ 地域活動支援センター

卒業生等へのボランティア情報提供やボランティア団体の創設・運営等を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進しました。

- ・主な機能 グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり  
地域活動の企画・運営に関する相談、研修会、講演会の開催、広報紙の発行など活動成果の情報発信、登録グループの行う地域活動に対する経費支援

## ③ 嬉野台生涯教育センター

### ア うれしの学園生涯大学(4年制大学講座)

生涯学習の一環として、高齢者に総合的・体系的な学習機会を提供し、生きがいある充実した生活基盤を確立することを目指すとともに、地域活動の実践者を養成することにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進に寄与することを目的として運営しました。

[うれしの学園生涯大学(4年制)]

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	44名	15名	32名	26名	117名

【参考】令和5年度入学者 1年 23名 (各学年定員60名)

### イ うれしの学園生涯大学大学院講座

高齢者大学講座での学習を基礎として生かし、地域の課題を専門的・実践的に学び知識や技能のステップアップを図るとともに、スキルアップ自主企画講座の柔軟な設定やそれに伴う4年制大学講座の受講など自由と自主性を尊重したカリキュラムに

さらに取り組み、主体的に地域社会に関わる意欲を持った地域づくり活動の担い手づくりに努めました。

[うれしの学園生涯大学大学院(2年制)]

	1年	2年	計
在籍者数	10名	11名	21名

【参考】令和5年度入学者 1年 4名 (各学年定員30名)

#### ④ 但馬文教府

##### ア みてやま学園(4年制大学講座)

豊かで生きがいのある生活を送るために、自己の健康づくりや地域づくり活動の実践力を培うなどの生涯学習の機会を提供するとともに、ここでの学びを通して長寿社会を担う地域活動の実践者を養成し、生きがいづくりや社会参加の推進に寄与するよう努めました。

[みてやま学園(4年制)]

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	23名	34名	27名	30名	114名

【参考】令和5年度入学者 1年 43名 (各学年定員60名)

##### イ みてやま学園大学院(地域活動実践講座)

4年制大学講座での学習をもとに、実践的な社会参加活動について学習することにより、地域づくり活動などに主体的に取り組む意欲をさらに醸成するとともに、実践力を習得することで、地域づくり活動等の実践者養成に努めました。

[みてやま学園(2年制)]

	1年	2年	計
在籍者数	22名	21名	43名

【参考】令和5年度入学者 1年 20名 (各学年定員30名)

#### ⑤ 西播磨文化会館

##### ア ゆうゆう学園(4年制大学講座)

生涯学習の一環として、高齢者が豊かな生きがいのある生活を送るために必要な教養と、地域づくり活動に役立つ専門知識や技能を身につけられるよう、総合的・体系的な学習の場を提供し、高齢者の生きがいづくりや地域の活性化に寄与するよう努めました。

[ゆうゆう学園(4年制)]

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	39名	42名	24名	34名	139名

【参考】令和5年度入学者 1年 31名 (各学年定員60名)

##### イ ゆうゆう学園大学院(地域活動実践講座)

4年制講座等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について学習することにより、地域における課題に対して、より主体的、実践的、専門的に取り組むことができる人材を育成し、地域発展に寄与できる実践者としての資質を養うよう努めました。



[ゆうゆう学園大学院(2年制)]

	1年	2年	計
在籍者数	13名	20名	33名

【参考】令和5年度入学者 1年 18名(各学年定員30名)

## ⑥ 淡路文化会館

### ア いざなぎ学園(4年制大学講座)

高齢者に学習年限4年で総合的、体系的な学習の機会を提供し、高齢者が生きがいある充実した生活基盤を確立し、地域の実践者としての素養を身につけることを支援しました。

[いざなぎ学園(4年制)]

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	40名	38名	27名	29名	134名

【参考】令和5年度入学者 1年 23名 (各学年定員60名)

### イ いざなぎ学園大学院(地域活動実践講座)

高齢者大学講座を修了した者に、学習年限2年で社会参加活動に係る総合的、体系的かつ実践的な学習機会を提供し、高齢者が地域づくり活動の実践者となることを支援しました。

[いざなぎ学園大学院(2年制)]

	1年	2年	計
在籍者数	5名	4名	9名

【参考】令和5年度入学者 1年 11名(各学年定員30名)

## (2) 高齢者放送大学事業の充実

### ア 高齢者放送大学(ひょうごラジオカレッジ)

著名な講師陣による質の高いラジオ講座を運営し、幅広く県民に生涯学習の機会を提供するとともに、中央・地方スクーリング等を通じた学友との交流の場の提供など、ラジオカレッジの魅力を積極的に発信し、受講生の拡大を図りました。

さらに、「仕事をしながら学べる」「自宅に居ながら学べる」特長を活かし、経済や新型コロナなど多世代が興味・関心を持つ分野を積極的に学習内容に取り入れました。

区分	本科生	聴講生	生涯聴講生	合計
在籍者数	164名	一名	1,396名	1,560名
定員	500名	定員なし		—

【参考】令和5年度

在籍者数	130名	一名	1,260名	1,390名
------	------	----	--------	--------

### イ ラジオカレッジサポーター

テキスト等の編集や発送に関すること、行事開催に関することなど、ラジオカレッジ運営を支援する「ラジオカレッジサポーター」を募集・登録し、各種事業にスタッフとして参加していただきました。

- ・対象者 ラジオカレッジ学生
- ・登録者数 19名
- ・活動日数 年間16回 延べ31日

### (3) 高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

ツウゲットボール等のシニアニュースポーツの普及、全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣を行い、高齢者の交流・健康づくり活動を広域的に展開しました。

#### ① シニアニュースポーツ

シニアニュースポーツの普及促進を図り、当協会が開発したツウゲットボールの全県大会を開催しました。

○第19回ツウゲットボール全県大会

- ・日 時 令和4年12月5日（月）
- ・開催場所：姫路市立球技スポーツセンター多目的グラウンド
- ・参加者 160名（32チーム）

#### ② 全国健康福祉祭（ねんりんピック）

全国の高齢者がスポーツ等を通じて交流を深める全国健康福祉祭（ねんりんピック）に兵庫県選手団を派遣しました。

○ねんりんピックかながわ2022

- ・会 期 令和4年11月12日（土）～11月15日（火）・選手団159名

### (4) ウィズコロナ、ポストコロナに対応した学びの場の提供

#### ① 生涯学習オンライン講座（動画配信）事業の実施（いなみ野・西播磨）

インターネットを通じて、いなみ野学園情報などの動画を配信し、外出自粛期間及び外出に不安を抱える期間でも自宅に居ながら学べる機会を提供し、学習意欲の維持や生きがいつくりの向上を図りました。

- ・協会ホームページに動画・資料を掲載し、インターネット経由で視聴。  
視聴回数 延6,191回
- ・地域の歴史文化資源や地域づくり活動の事例に関する講座を、西播磨文化会館ホームページから配信。  
視聴回数 延5,275回

#### ② 生涯学習講座における新たな学習環境実証事業の実施（いなみ野）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、高齢者大学等の生涯学習講座においても、受講者が安心・安全に学習できる新たな学習環境の整備を行うとともに、効果的な学習内容、効率的な講座運営に向けた課題やニーズ等を明らかにし、今後の講座展開につなげていきました。

- ・いなみ野学園共通講座のZoomによる自宅受講
- ・密状態を避けるため、分散開講等新たな学習環境の整備
- ・施設間を結んだオンライン共同講義の実施
- ・講座の効果やニーズ、課題を把握するためのアンケートの実施

## 3 未来を担う青少年の育成

### (1) 生きる力を育む体験教育の実施

#### ① 嬉野台生涯教育センター

長年にわたり野外活動等による体験教育に取り組んできた嬉野台生涯教育センターを体験学習・野外活動を先導する拠点として位置付け、野外活動学習をはじめとする青少年等に対する体験学習の充実を図り、青少年等の生きる力を育てていきました。

事業名	内 容	実 績 (日時・場所・回数・人数等)
<p>ア ひょうご冒険教育（HAP）</p>	<p>県下で唯一の施設の体験による冒険活動を通じて、こころ豊かでたくましい人間を育成することを目指し、信頼や協調性を高める「チームづくり」の機会を提供しました。</p> <p>また、参加者の年齢や体験グループの成熟度、活動内容(体験時間等)等に応じた適切なアレンジにより HAP 体験の機会を提供しました。</p> <p>さらに、教育関係者や HAP に携わる指導者等のセミナー及び講習会の拡大を図り、指導者等の資質向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動回数：年9回程度（5月～3月の各1～3日間）</li> <li>・対 象 者：社会教育、野外教育、学校教育、生涯学習、社員教育等の関係者</li> </ul>	<p>開催日：令和4年4月～令和5年3月</p> <p>場所：嬉野台生涯教育センター 利用者数：延べ4,554名</p> <p>【セミナー・講習会】</p> <p>開催日：令和4年5月～令和5年3月（9回）</p> <p>場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：延べ205人</p>
<p>イ 野外活動指導者養成講座</p>	<p>野外活動の基本的な知識・技能を習得するとともに、指導者として必要な資質を身につける機会を提供し、野外活動指導者としての人材を育成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動回数：年2回</li> <li>・対 象 者：野外活動に関心のある者</li> </ul>	<p>開催日：令和4年7月2日</p> <p>場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：40名</p> <p>開催日：令和4年12月18日</p> <p>場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：19名</p>
<p>ウ 全県野外活動フォーラム</p>	<p>県内の野外活動関係者が一堂に会し、これからの野外活動指導者に必要な資質や在り方についての研修を行うとともに、ネットワークの構築を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動回数：年1回（12月に1日間）</li> </ul>	<p>開催日：令和4年12月17日</p> <p>場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：16名</p>
<p>エ うれしの台ユースセミナー</p>	<p>野外等における豊かな体験活動を通じて、子どもたちに感動や達成感、充実感を味あわせるとともに、集団の中での自律心、規範意識を育成することを通じて「たくましいひょうごっ子」を育成する機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設 夏(7～8月)に9コース 冬に3コース</li> <li>・対象者 小学生・中学生</li> <li>・定 員 各コース15～50名（全500名程度）</li> <li>・受講料 一人13,000円～27,000円程度</li> </ul>	<p>&lt;サマースクール&gt;</p> <p>期間：令和4年7月25～29日 参加者数：146名</p> <p>期間：令和4年8月4～9日 参加者数：108名</p> <p>期間：令和4年8月16～19日 参加者数：59名</p> <p>&lt;ウインタースクール&gt;</p> <p>期間：令和4年12月25～27日 参加者数：63名</p>

<p>オ うれしの台親子DAYキャンプ 【新規】</p>	<p>子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験が減少している現状を踏まえ、日常生活では体験できないような野外等での活動を通じて、親子でのふれあいやコミュニケーションの機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動回数：年2回</li> <li>・対象者：小学生、保護者</li> </ul>	<p>開催日：令和4年10月22日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：26名</p> <p>開催日：令和5年1月21日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：8名</p>
<p>カ 学校の学習活動（自然学校）</p>	<p>各学校の児童生徒にとって充実した学習活動となるよう、安全面・衛生面等に配慮したプログラムづくりや集団での学びのサポートをしました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然学校 受入れ校数 27校 受入れ人数 2,227名</li> <li>・ひょうご冒険教育（HAP） 小学校 19校 1,797名 中学校 17校 1,775名 高等学校 6校 295名 大学 2校 119名</li> </ul>

② 但馬文教府

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
<p>ア 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」の発行</p>	<p>小・中学生から作文、詩を募集し、優秀作品を「但馬の子ども」に掲載しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活部門：作文、詩</li> <li>・応募期間：令和4年9月～10月</li> <li>・対象者：但馬地域の小・中学生</li> <li>・但馬の子ども発行：令和5年3月</li> </ul>	<p>応募期間：令和4年9月1日～10月17日 出品数：159点（小学校106点、中学校53点） ＜「但馬の子ども」の発行＞ 令和5年3月発行 発行部数：400部</p>
<p>イ 科学する但馬の子ども作品展、研究集録の発行</p>	<p>豊かな但馬の自然環境の中で生活している児童生徒の科学する心の育成を支援するとともに、自然の事物・現象について理解を深め、科学的思考力を養い、自らの力で探求する喜びを体験し、発表することにより子どもの生きる力を育むことを趣旨として作品展を開催し、優秀作品を掲載した研究集録を発行しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品展：令和4年9月16日～25日</li> <li>・対象者：但馬地域の小・中学生</li> <li>・研究集録の発行：令和5年3月</li> </ul>	<p>＜作品展＞ 開催日：令和4年9月16日～9月25日 場所：但馬文教府体育館 作品数：210点（小学校145点、中学校65点） 来場者数：863名 ＜研究集録の発行＞ 令和5年3月発行 発行部数：350部</p>
<p>ウ 親子フェスタIN但馬文教府</p>	<p>理科教育に関して文教府が培ってきた先導的取組みやネットワークを活かし、幅広い団体、教育機関等との連携により、未来の但馬の担い手や世界レベルで活躍する子どもたちを育成しました。</p> <p>また、幼児や子育てする親等が遊び体験等ができる親子イベントをあわせて実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 令和4年7月9日</li> <li>・参加者 幼・小・中学生</li> </ul>	<p>開催日：令和4年7月9日 場 所：但馬文教府 内 容：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAXAコズミックカレッジ</li> <li>・ドローン操作体験</li> <li>・プラネタリウム</li> <li>・ラジコンバギー、プラレール</li> <li>・貝がら工作教室</li> <li>・ミニ水族館</li> <li>・金メダルをつくろう</li> </ul> </p> <p>参加者数：700名</p>

### ③ 西播磨文化会館

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
ア にしはりまキッズフェスタ	「西播磨ふるさと文化祭」の中のステージ発表の中で、地域において文化活動を行っている子どもたちが、日頃の練習成果を発表する機会を設けました。さらに地域のグループ・団体等と連携して、子どもたちが様々な文化活動を体験しながら、表現力や想像力を養うワークショップを事前予約制で実施しました。	開催日：令和4年11月27日 場 所：西播磨文化会館 参加者：延べ300名
イ プレーパークへの支援	「子どもの遊び場を考える会赤とんぼ」の活動場所として敷地内を活用。プレーパーク赤とんぼの開催を支援するなど、様々なイベントを通して若い世代との交流を図りました。	開催日：原則月1回土曜日 場 所：西播磨文化会館 参加者：延べ2,776名

### ④ 淡路文化会館

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
ア 国生みの島元気っ子フェスティバル	淡路地域で活動する個人や団体が、子どもの健全育成を目的とした様々なプログラムを出展し、様々な体験をとおして、こころ豊かで健やかな子どもの育成を図りました。	開催日：令和4年10月2日 場 所：淡路文化会館 参加者数：622名  前日準備：令和4年10月1日 高校生ボランティア11名参加

## (2) ふるさと意識の醸成

地域の特色を生かした事業を展開し、青少年のふるさと意識の醸成を図りました。

- ① 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」の発行（但馬）【再掲】
- ② にしはりまキッズフェスタ（西播磨）【再掲】
- ③ 国生みの島元気っ子フェスティバル（淡路）【再掲】

## 4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

生涯学習や地域づくり活動に対する多彩な県民ニーズに応えるため、多様な生涯学習関係機関、活動団体等とのネットワーク化や連携を進めました。

### (1) 大学等学校教育機関との連携

- ① 兵庫大学、兵庫教育大学等との連携（協会本部、いなみ野、嬉野台）

兵庫大学・兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学等との連携により、生涯学習講座の開設、学校施設の相互利用等を実施しました。

・兵庫大学・兵庫大学短期大学部との連携

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫大学エクステンションカレッジにおいて、いなみ野学園研究生による講義を実施（いなみ野）</li> <li>・講師派遣等本学園講座への協力（いなみ野）</li> <li>・兵庫大学の生涯学習プログラム（エクステンションカレッジ）説明資料の配布（いなみ野）</li> <li>・兵庫大学看護学部学生臨地実習の協力（いなみ野）</li> <li>・ポスター、パンフレット等の掲示（いなみ野）</li> </ul>
------	--

・兵庫教育大学との連携

開催日	令和4年12月7日
対象者	いざなぎ学園生及び一般
参加者数	101名
開催場所	淡路文化会館 講堂
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 演題：今日からできる感情のセルフマネジメント 講師：兵庫教育大学大学院 准教授 伊藤 大輔</li> </ul>

開催日	令和5年1月17日
対象者	いなみ野学園2年生及び一般
参加者数	204名
開催場所	いなみ野学園 大講堂
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 演題：比較優位と国際貿易 講師：兵庫教育大学大学院 准教授 渡邊 正</li> </ul>

・神戸大学との連携

開催日	令和4年4月19日
対象者	うれしの学園生（4年制大学・大学院）
参加者数	138名
開催場所	嬉野台生涯教育センター 講堂
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 演題：持続可能な社会づくりの主体に～エイジズムを超えて～ 講師：神戸大学大学院 教授 松岡 広路</li> </ul>

・兵庫県立大学との連携

開催日	令和4年9月27日
対象者	うれしの学園生（4年制大学1～3年）
参加者数	91名
開催場所	嬉野台生涯教育センター 講堂
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 演題：兵庫の防災 講師：兵庫県立大学大学院 教授 阪本 真由美</li> </ul>

・兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター福祉のまちづくり研究所との連携

開催日	令和5年3月2日
対象者	いなみ野学園3年生
参加者数	135名
開催場所	いなみ野学園 大講堂
内容	・講演 演題：ロボット技術を活用した介護予防 講師：総合リハビリテーションセンター 所長 陳 隆明

② 関西労災看護専門学校との連携（阪神）

健康学科の講座の中で関西労災看護専門学校生との交流を実施しました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークへの参加 令和4年11月15日「有馬温泉 ～健康を求める 温泉文化Ⅱ」</li> <li>・講座参加 令和5年1月17日～2月15日 健康学科の講座（1～4年生）8科目 参加看護学生 35名</li> </ul>
--

③ 兵庫教育大学との連携による生涯学習指導者育成研修（嬉野台）

青少年の体験活動や野外活動に関する基本的な理論と実技を修得する教育実習（フレンドシップ実習：兵庫教育大学における科目）を実施しました。

（教育実習生を「うれしの台ユースセミナー」におけるリーダーとしました。）

・対象者 兵庫教育大学教育実習生（3年生と2年生の一部）

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修会 実施日：6月24日～25日</li> <li>・実技実習（うれしの台ユースセミナー） サマースクール 実施日：7月25～29日、8月4～9日、8月16～19日</li> <li>ウインタースクール 実施日：12月25～27日</li> </ul>
------	---

④ 地域の学校教育機関との連携（嬉野台）

うれしの学園生涯大学の講座の一環として県立社高等学校、市立社中学校、米田小学校及び米田こども園と連携した世代間交流事業を実施し、多世代交流の促進を図りました。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立米田小児童、米田こども園児との世代間交流田植え【4年制大学講座1年】 実施日：6月9日</li> <li>・県立社高等学校生徒との世代間交流料理講習会【4年制大学講座2年】 実施日：6月22日</li> <li>・市立社中学校生徒との世代間交流弁論大会【大学院講座1・2年】 実施日：11月11日</li> </ul>
------	---

⑤ 豊岡短期大学との連携（但馬）

豊岡短期大学との連携協定に基づき、講座開設の実施を通して一層の強化を図るとともに更なる交流を深めました。

実施日：基礎講座 5月17日 「社会福祉に関すること」  
6月7日 「子育て（支援）に関すること」  
実践講座 11月13日 豊岡短大学園祭で模擬店を出店

⑥ 県立日高高等学校との連携（但馬）

日高高校との実習委託契約に基づき、看護科1年生と大学院1年生が触れ合う機会をつくり、相互にコミュニケーション能力の向上と交流活動を3回実施しました。

実施日：6月7日、11月8日、22日

⑦ 県立龍野北高等学校との連携（西播磨）

平成23年からの県立龍野北高等学校との連携協定に基づき、互いの持つ資源の有効活用を通じて、高校生と高齢者大学生との意見交換会や看護・介護体験講座、高校生による森づくりなど様々な連携事業を実施しました。

また、ゆうゆう学園生がSP（模擬患者）となり、高校生が継続的な看護ケアを行う看護科実習ボランティアに取り組みました。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・高校生とゆうゆう学園生との意見交換会の開催 実施日：令和4年7月8日</li><li>・介護体験講座の実施（ゆうゆう学園生が高校生と共に実習） 実施日：令和4年9月9日</li><li>・看護実習の実施（ゆうゆう学園生が模擬患者となり高校生と共に実習） 実施日：令和4年12月2日</li><li>・ゆうゆう学園講座に高校生が参加 テーマ：「地域貢献と健康就労について」 「まだまだ元気に イキイキ!! ハツラツ!!」 「朗読と健康」 ほか</li><li>・高校生（環境建設工学科）に校外学習の機会を提供するため、西播磨文化会館山林地に御影石と植栽を配置した庭園「冬芽」を施工</li></ul>
------	--

⑧ 公益財団法人兵庫県青少年本部山の学校との連携（協会本部）

山の学校生徒による施設内の倒伐木のほか、交流事業に取り組みました。

(2) 公民館等市町関係機関との連携（協会本部）

公民館が主催する生涯学習講座等の講師の紹介、生涯学習推進アドバイザーやいなみ野学園研究生の派遣などにより、市町の生涯学習事業を支援しました。

・生涯学習推進アドバイザーの派遣 29件（再掲）

(3) 博物館等社会教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、淡路）

県立人と自然の博物館、県立美術館、県立歴史博物館、兵庫陶芸美術館及び県立考古博物館との連携により、高齢者大学への講師派遣、各施設の実施事業への積極的な参加等を実施しました。

(4) 自治会等各種地域団体との連携

地域学校協働本部が実施する地域学校協働活動（見守り等学校支援活動、放課後子ども教室等）への高齢者大学学生、卒業生等の参加を促進しました。

① プレーパークへの支援（西播磨）【再掲】



## (5) 高齢者大学等関係組織との連携

### ① 同窓研修会との連携（いなみ野）

同窓研修会を高齢者大学卒業生の生涯学習機関と位置づけ、講師としての研究生等の紹介を通じて研修活動の充実に協力しました。

### ② ラジオカレッジ友の会（放送大）

高齢者放送大学の「ラジカレ応援団」ともいえる友の会の活性化を図るため、友の会の組織率向上や広報誌発行の継続、運営などに関する課題を代表者会議の中で検討しました。また、地方スクーリングの機会を通じて、各友の会の会員と職員との意見交換会の実施を働きかけるなど、支援協力を依頼しました。

### ③ 阪神シニアカレッジ同窓会との連携（阪神）

同窓会の自主的な活動を支援するほか、同窓会への加入促進・カレッジ学生募集に関する相互協力や、同窓会の自主事業「マイスター講座」で講演する講師の紹介など、相互に連携しながら事業を推進しました。

### ④ うれしの友の会との連携（嬉野台）

センターに集うすべての人々をつなぐ「うれしの友の会」と連携して、年間150回を超える様々な楽しい体験や交流をしながら、参加者相互の心の交流を図り、こころ豊かな場を創造しました。

### ⑤ みてやま学園学生自治会・同窓会との連携（但馬）

みてやま学園学生自治会及び同窓会との連携により地域実践活動講座を実施し、花の定植や清掃活動など文教府周辺道路等の環境美化活動に取り組みました。

### ⑥ 但馬高齢者学習研究協議会との連携（但馬）

但馬地域の市町が運営する生涯学習機関との連携を進め、高齢者の生涯学習の普及と交流を図りました

構成員会議：4回開催

「学ぶ高齢者のつどい作品展」の開催

期間：10月17日～19日

場所：但馬文教府

作品数：124点

### ⑦ ゆうゆう学園学生自治会・同窓会との連携（西播磨）

学生自治会・同窓会が連携し、研修会やクラブ活動への参加など様々な交流をしながら、地域におけるボランティア活動等の地域づくり活動の促進へつなげました。

### ⑧ いざなぎ学園学生自治会との連携（淡路）

いざなぎ学園学生自治会の運営に協力し、学園学生相互の親睦を深めることに寄与するとともに、自治会が行う施設内、施設周辺等の清掃その他の環境美化活動を支援することで、いざなぎ学園の学習環境の向上を図りました。

⑨ 塾友会等 OB 会との連携（創生塾）

塾友会等 OB 会との連携により、卒塾生による在塾生への地域活動の紹介や卒塾生の地域づくり活動の促進を図りました。

(6) 広域ネットワーク組織との連携

兵庫県公民館連合会等の県域ネットワーク組織との連携を強化するとともに全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会等の全国ネットワーク組織や関西圏・首都圏シニア大学校等の県域を越えたネットワーク組織との連携を強化しました。

① 兵庫県公民館連合会との連携

兵庫県公民館連合会との連携において、社会教育関係職員等研修や県公民館大会・近畿公民館大会の実施を支援するなど、兵庫県公民館連合会との連携を強化しました。

○社会教育関係職員等研修（年6回）

新任者（9月8日）・課長施設長対象の研修（6月2日）とスキルアップ研修（7月19日、8月9日、8月30日、12月20日）を実施し、社会教育・生涯学習の人材育成に取り組みました。

○県公民館大会（年1回）

- ・開催日：令和5年1月31日（火）
- ・参加者：173名（会場：148名、オンライン：25名）
- ・内容：午前：優良職員表彰、文部科学省施策説明・実践発表（3名）  
午後：講演（講師：北海道平取町前町長・公民館連合会副会長）

○全国公民館研究集会・近畿公民館大会（年1回）

- ・開催日：令和4年11月10日（木）
- ・場 所：和歌山城ホール
- ・参加者：約600名（兵庫県：58名）
- ・内容：午前：優良職員表彰、記念講演  
午後：分科会

② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携（協会本部）

高齢者の生きがいづくり・健康づくりを推進し、地域の支え手となる高齢者を育む活動に取り組む全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会の会員として会議等に参加し、推進機構相互の情報交換や事業推進の協議を行いました。

○総会（年2回）

- ・開催日：令和4年7月4日（月）、場 所：日本青年館ホテル
- ・開催日：令和5年2月28日（火） ※オンライン参加

○近畿ブロック会議（年1回）

書面審議により実施されました。（担当：滋賀県）

③ 関西圏・首都圏シニア大学校交流事業（協会本部、いなみ野）

関西圏・首都圏の高齢者大学の運営者・学生・卒業生等に呼びかけ、互いに知識を深め、交流の輪を広げることを目的として実施している当該事業を兵庫県で実施しました。

- ・開催日：和5年2月15日（水）
- ・場 所：兵庫県立兵庫津ミュージアム

- ・参加者：103名
- ・内容：基調講演（田辺 真人 県立兵庫津ミュージアム名誉館長）  
施設見学

④ 県内文化施設との連携（あいカード）（全施設）

県内の美術館、博物館等の文化施設における県高齢者大学等学生を対象とする割引利用制度（あいカードの提示による割引）により、学生の学習ニーズに対応するとともに、文化施設の利用促進を図りました。

(7) NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携

ボランティア活動の場の提供、実践体験講座の支援等に取り組むボランティアセンターを運営する市町社会福祉協議会、NPOを育成する中間支援団体等との連携を進めていきました。

(8) 各施設の魅力を生かした地域住民との交流

① 施設の魅力を活かした地域住民との交流（いなみ野）

・「親子陶芸教室」の実施【再掲】

5 地域団体等の参画と協働による地域文化活動の支援

文化会館等で展開してきた地域文化活動の振興、地域文化活動団体への支援を更に強化するなど、地域団体等の参画と協働による地域づくりを推進し、青少年の感性（想像力、表現力等）を育むとともに、住民のふるさと意識の醸成や居場所・交流の場づくりなどを進め、みんなで支え合う地域づくりにつなげました。

(1) 地域文化事業の実施（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

従来から取り組んできた各地域の伝統芸能、音楽、文芸、美術、スポーツ等地域文化の振興を図る発表会、コンサート、公募展、イベント開催等について、引き続き地域の関係団体、住民の参画と協働により事業を継続しました。

[地域文化活動の振興]

	事業名	事業概要	実績
① 嬉野台生涯教育センター	ア うれしの春のフェスティバル	施設開放を行い、芸術、文化、スポーツ、地域活動団体の交流などを通じて、家族間、世代間、地域間の交流の促進を図るとともに、利用者の拡大を図りました。 対象者：県民	実施日：令和4年5月4日(水) 参加者数：約4,600人
	イ うれしのまるとごギャラリー	年間を通じて絵画、写真、書、木彫、陶芸等を展示することで作品発表と鑑賞の場を提供しました。 対象者：県民	・常設展示[歴史コーナー] 「センターの変遷」 「加古川舟運」(レプリカ) ・特設展示 計135点 ※Ⅰ期61点、Ⅱ期74点

① 嬉野台生涯教育センター	ウ 東はりまみんよう大会	みんように取り組む団体の発表と交流を通して、伝統芸能の継承を図ることにより地域文化の活性化を図りました。 対象者：県民	実施日：令和4年10月2日(日) 参加者数：226人
	エ 東はりま大茶会	茶道文化の交流事業を実施し、伝統文化の保存・継承を図るとともに、地域文化の振興と普及拡大を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和4年10月23日(日) 参加者数：約400人
	オ 東はりまコーラス大会	合唱団体による発表と交流の場を提供し、音楽団体の育成を図るとともに、個性ある文化活動の向上を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和4年11月23日(水) 参加者数：243人
	カ 東はりま芸能祭	芸術活動を進める団体に発表の場と交流の機会を提供し、団体の育成を図るとともに、広く県民に鑑賞の場を設けることで伝統芸能の啓発普及を図りました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和4年12月18日(日) 参加者数：約200人
	キ 東播磨選抜美術展	公募による美術展を開催し、優れた作品にふれる機会を設けるとともに、創作意欲を喚起することにより東・北播磨地域における美術の振興を図りました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和5年2月17日(金)～19日(日) 参加者数：869人
	ク 東播磨の地域文化を考える会	東播磨・北播磨地域各市町文化協会・団体の会員等が一堂に会し、地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行う。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和5年3月11日(土) 参加者数：120人
	ケ 文芸誌「東はりま文化子午線」の発行	東播磨・北播磨地域の県民を対象に公募した短歌・俳句・川柳・詩・随筆等の作品を中心とした文芸誌の発行を通して、文化活動の裾野の拡大と地域文化の活性化を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	発行日：令和5年3月31日(金) 発行部数：1,500部
② 但馬文教府	ア 但馬美術展	日本画・油彩画・水彩画・版画・ミクストメディアの5部門からなる公募展を実施、鑑賞の場を提供することにより美術の発展を図りました。 対象者：但馬在住、又は但馬で活動している高校生以上	実施期間：令和4年8月2日(火)～8月8日(月) 出品数：83点 来場者数：約1,000人
	イ ふるさとの心をうたう但馬合唱祭	但馬各地の合唱団体が一堂に会し、日頃の練習成果の発表と交流により、ふるさと但馬の文化振興を図りました。 対象者：但馬内合唱グループ	開催日：令和4年11月23日(水) 場所：但馬文教府 参加者数：36団体

② 但馬文教府	ウ 但馬歴史講演会	但馬史へ理解を深め郷土愛を育むため、但馬の歴史や遺跡等についての講演会を実施しました。 対象者：県民	開催日：令和4年11月18日（金） 場所：但馬文教府 参加者数：約170人
	エ 但馬文学のつどい「たじま作品集」の発行	短歌、俳句、冠句、川柳の合同作品展と研さん交流の会を開催するとともに、但馬在住者及び但馬のグループに所属する人を対象に短歌・俳句・冠句・川柳、詩を募集し、短詩型文学『たじま作品集』として発行しました。 対象者：一般・だれでも 児童生徒・但馬地域の小・中・高・特別支援学校	〈但馬文学のつどい〉 開催日：令和4年11月19日（土） 応募数：一般200点、 児童生徒1,576点 参加者数：111人 〈『たじま作品集』の発行〉 募集期間：令和4年10月26日（水）～12月21日（水） 応募者数：178名 発行：令和5年3月、500冊
	オ 但馬ふるさと芸術文化祭	但馬で芸術・芸能活動に取り組む個人や団体、学校などが日頃の成果を発表し、ふるさと但馬の芸術・文化のさらなる振興を目指しました。 対象者：県民	実施日：令和4年9月29日（木）～10月2日（日） 実施場所：但馬文教府 参加者数：600人
③ 西播磨文化会館	ア 播州段文音頭大会	地域に唄い継がれてきた播州段文音頭の保存会を支援するため、交流の機会を提供することで、活動の活性化とともに、地域文化の振興を図りました。 また、大会の様子を紹介するサイトから配信しました。 対象者：西播磨文化協会連絡協議会加盟の播州段文音頭保存会等、県民	実施日：令和4年8月27日（土） 実施場所：西播磨文化会館 参加者数：120人
	イ 播州段文音頭教室	播州段文音頭の担い手を養成するため、各市町文化協会や保存会と連携し、音頭及び太鼓を学ぶ機会を設けました。 対象者：県民	実施日 原則第3火曜日（5月から3月） 参加人数 各回15人程度
	ウ ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭	中播磨・西播磨各地で活動している合唱団等の音楽活動団体に発表と交流の場を提供し、それら団体の育成を図るとともに、中播磨・西播磨の特色ある芸術文化活動の向上を図りました。 対象者：中播磨・西播磨地域の合唱グループ	実施日：令和4年12月4日（日） 実施場所：山崎文化会館 参加者数：222人・14団体

<p>③ 西播磨文化会館</p>	<p>I 西播磨ふるさと写真展</p>	<p>作品を通し、明日の中・西播磨を考える機会を提供するとともに、作品の鑑賞を通して、互いの技量の向上や交流の輪の拡大を目指し、地域文化の活性化を図りました。        テーマ:中・西播磨の自然と文化        対象者:県民</p> <p>&lt;巡回展&gt;        上記の写真展を中播磨・西播磨管内各市町で巡回展示する巡回展を開催し、広くふるさと意識の醸成を図りました。</p>	<p>&lt;写真展&gt;        期間:令和4年9月3日(土)～9日(金)        実施場所:西播磨文化会館        入場者数:458名</p> <p>&lt;巡回展&gt;        期間:令和4年10月27日(木)～11月16日(水)        場所:光都プラザ「オプトピア」        入場者数:408名</p> <p>期間:令和4年11月18日(金)～12月7日(水)        場所:ギャラリー&amp;喫茶やまだ        入場者数:80名</p> <p>期間:令和4年12月13日(火)～22日(木)        場所:赤穂市民会館1Fロビー        入場者数:500名</p> <p>期間:令和5年1月6日(金)～16日(月)        場所:宍粟市役所1Fロビー        入場者数:115名</p> <p>期間:令和5年1月18日(水)～31日(火)        場所:神河町中央公民館        入場者数:218名</p> <p>期間:令和5年2月1日(水)～10日(金)        場所:上郡町生涯学習支援センター        入場者数:766名</p> <p>期間:令和5年2月15日(水)～24日(金)        場所:姫路市立香寺公民館        入場者数:960名</p>
------------------	---------------------	---	---

③ 西播磨文化会館	オ 西播磨短歌祭	<p>中播磨・西播磨地域の短歌愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図りました。</p> <p>対象者：中・西播磨地域在住または在勤(学)の方 中・西播磨地域の歌会に所属する方</p>	<p>開催日：令和4年10月29日(土) 場 所：西播磨文化会館 応募数：779首(719名)</p>
	カ 西播磨俳句祭	<p>中播磨・西播磨地域の俳句の愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図りました。</p> <p>対象者：中・西播磨地域在住または在勤(学)の方 中・西播磨地域の句会に所属する方</p>	<p>開催日：令和4年10月22日(土) 場 所：西播磨文化会館 応募数：1,650句(1,049名)</p>
	キ ふるさと意識醸成プロジェクト	<p><b>(ア)西播磨ふるさと文化祭</b> 子どもから高齢者まで、多様な世代がふるさと意識を共有しつつ、みんなで創り上げる芸術文化祭を開催。生活創造グループ、地域団体、高齢者大学生、地元高校生等が参加して展示・ステージ発表等を行う等、大規模イベントを開催しました。</p> <p>・対象者：一般</p>	<p>開催日：令和4年11月27日(日) 場 所：西播磨文化会館 参加者数：1,500名</p>
		<p><b>(イ)播磨「歴史・地域学」講座</b> 中・西播磨地域の歴史・文化・くらしなどの学習を通じて、ふるさとへの愛着・地域活性化への機運の醸成・ふるさと創生づくりに資する講座を開催しました。また、地域の歴史・文化関連図書コーナーを設け、来館者の閲覧に供しました。</p> <p>・対象者：一般</p>	<p>開催日：①令和4年10月5日(水) ②令和4年10月26日(水) ③令和4年11月16日(水) ④令和4年12月14日(水) 場 所：西播磨文化会館 参加者数：延べ717名</p>
		<p><b>(ウ)ゆうゆうチャンネル(生涯学習オンライン講座)の配信【新規】</b> 地域づくり活動や伝承文化活動、芸術文化活動で活躍する人々、団体の動画を「ゆうゆうチャンネル」として、西播磨文化会館のホームページ内で配信しました。</p> <p>・対象者：一般</p>	<p>場 所：西播磨文化会館(ネット配信) 配信講座数：9講座</p>
		<p><b>(エ)県立龍野北高等学校との連携【再掲】</b></p>	

④ 淡路文化会館	ア 淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会	淡路人形浄瑠璃に影響を受けた全国の人形浄瑠璃後継者団体等と連携し、後継者の交流と発表の機会をつくとともに、各団体のネットワーク化と全国への情報発信を推進しました。	交流会 実施日：令和4年7月23日(土) 場 所：洲本市文化体育館 発表会 実施日：令和4年7月24日(日) 場 所：洲本市文化体育館 参加団体：淡路三原高等学校、三原中学校、南淡中学校、福井子供会、淡路人形芸舞組、淡路人形浄瑠璃青年研究会、鶴澤友球会、鶴澤友吉会  撮影会(発表会当日欠席団体) 実施日：令和5年1月25日(水) 場 所：淡路人形座 参加団体：市小学校
	イ 淡路島ココだけの文化祭	淡路地域で保存・継承されている伝統芸能や民俗芸能、淡路島をテーマとした創作芸能や様々な音楽等に取り組む団体のパフォーマンスをステージで発表し、その記録映像を淡路文化会館のホームページ上で配信し、地域文化の振興を図りました。	実施日：令和4年12月18日(日)  場 所：淡路市立しづかホール 参加者数：450名(出演者含む)
	ウ 淡路日本画セミナー	日本画の創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培う機会を提供しました。 初級、中級の2コースに分けて開催 年間10回 定員：初級35名、中級25名 対象者：県民	実施回数：10回 参加者：初級 延べ109名 中級 延べ102名
	エ 淡路洋画セミナー	洋画の創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培う機会を提供しました。 年間10回 定員：50名 対象者：県民	実施回数：10回 参加者：延べ240名
	オ 第41回全淡短歌祭	短歌作品を募集し、優秀作品を表彰することで、淡路地域の短歌愛好家の交流と創作意欲の高揚を図りました。 対象者：県民	開催日：令和4年7月31日(土) 場 所：洲本市立洲本図書館
	カ 第46回淡路島俳句大会	俳句作品を募集し、優秀作品を表彰することで、淡路地域の俳句愛好家の交流と創作意欲の高揚を図りました。 対象者：県民	開催日：令和4年11月13日(日) 場 所：洲本市立淡路文化史料館



④ 淡路文化会館	キ 第44回淡路文学作品展	作者自ら書写した短歌・俳句・雑俳を展示することで、淡路における短詩型文学の振興を図りました。 対象者：県民	開催日：令和4年11月25日(金) ～12月6日(火) 場 所：洲本市立淡路文化史料館
	リ 令和4年度兵庫県地域文化を考えるシンポジウム	地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行いました。 対象者：県内各市町文化協会・団体の会員等	開催日：令和4年11月25日(金) 場 所：洲本市文化体育館 参加者数：361名

## (2) 文化会館等の特性を生かした利用促進

地域の特色ある文化活動の拠点として市域を越えた地域文化団体の事務局を担うなど、伝統文化の伝承活動、住民のふるさと意識の醸成、広域交流のたまり場としての役割などを担っており、日常的、継続的な賑わいを創出するため、地域の文化団体、地域団体、生活創造活動グループ、高齢者大学学生・卒業生等と連携し、利用促進を図りました。

### ①地域文化活動の支援

支援団体等	支援内容	実 績
① 嬉野台生涯教育センター	7 東播磨文化団体連合会への支援 東播磨・北播磨地域内の各種文化団体の連携と研修を深め、地域の芸術文化の高揚を図ることを目的として設立された東播磨文化団体連合会が実施する各種事業や活動等を支援 ＜支援内容＞ 地域文化団体との連携調整をはじめ、「東播磨の地域文化を考える会」の開催や文芸誌「東はりま文化子午線」の発行など	＜役員会・理事会・定期総会＞ 開催日：令和4年5月28日(土) 場所：嬉野台生涯教育センター ＜各事業＞ 開催時期：令和4年10月～令和5年3月 ＜みんよう大会＞ 場所：稲美町 ＜大茶会＞ 場所：西脇市 ＜コーラス大会＞ 場所：加東市 ＜美術展＞ 場所：加古川市 ＜芸能祭＞ 場所：小野市 ＜地域文化を考える会＞ 場所：嬉野台生涯教育センター ＜「東はりま文化子午線」の刊行＞ 令和5年3月発行 発行部数：1,500部
② 但馬文教府	7 但馬文化協会への支援 但馬地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された但馬文化協会が実施する各種事業や活動等を支援 ＜支援内容＞ 地域文化団体との連絡調整をはじめ、但馬文化協会機関紙「KOHNOTORI」発行、ふるさと芸術文化振興事業等	＜但馬美術展＞ 開催日：令和4年8月2日(火) ～8月8日(月) ＜但馬合唱祭＞ 開催日：令和4年11月23日(水・祝) ＜地域文化を考えるシンポジウム＞ 開催日：令和4年11月25日(金) 場 所：洲本文化会館体育館

② 但馬文教府	イ 但馬芸術文化 会議への支援	但馬地域住民の芸術・文化活動の振興を目的として設立された但馬芸術文化会議が取り組む各種事業や活動等を支援 〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、「但馬ふるさと芸術文化祭」開催運営支援、但馬文化賞・青少年文化奨励賞の実施、機関紙「芸文たじま」の発刊など	<常任理事会・定期総会> 開催日：令和4年5月14日（土） 但馬文化賞：岩田健一郎 但馬青少年文化奨励賞：あさごハーバース、日高東中学校吹奏楽部 <会員交流会>【中止】 <講師派遣事業> 実施回数：2回
	ウ 但馬美術協会 への支援	但馬地域の美術（絵画）振興を図り、郷土文化の向上に寄与することを目的として設立された但馬美術協会の事業、活動等を支援 〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、但馬美術展の開催、但馬美術協会報の発行など	<但馬美術展> ・但馬美術展の開催にむけた募集と広報活動 開催期間：令和4年8月2日（火）～8月8日（月） ・但馬美術展における但馬文教府長賞の授与
	エ 但馬市郡婦人 会連絡協議会 への支援	但馬各市町地域婦人会相互の連絡を密にし、但馬のくらしと文化の促進を図り、婦人の資質向上と地域の発展を目指すことを目的として設立された但馬市郡婦人会連絡協議会の各種事業、活動等を支援 〈支援内容〉 地域文化団体との連携調整をはじめ、但馬市郡婦人会交流会、但馬文教府と共催で実施する研修会など	加盟団体の減少及び構成員の高齢化と減少を理由に協議会を解散しました。 理事会・総会：令和4年4月21日（木）
③ 西播磨文化会館	ア 西播磨文化協会 連絡協議会 への支援	中播磨・西播磨地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された西播磨文化協会連絡協議会が取り組む各種事業や活動等を支援 〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、子どもも大人も楽しめる「文化体験教室」、西播磨地域ふれあい文化交流会、新年文化交流会の開催、機関誌「西播磨文化」の発行など	<西播磨地域ふれあい文化交流会・研修会> 開催日：令和4年10月4日（火） 場 所：赤穂市民会館 内 容：・講演「赤穂に塩と城」 講師：荒木 幸治 ・赤穂市文化協会活動紹介等 ・各文化協会の情報交換  <新年文化交流会> 開催日：令和5年1月11日（水） 場 所：西播磨文化会館 参加者数：104名  <機関誌「西播磨文化」の発行> 発 行 日：令和5年3月1日 発行部数：1,200部

④ 淡路文化会館	7 淡路文化団体連絡協議会への支援	<p>淡路地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された淡路文化団体連絡協議会が実施する各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉  地域文化団体との連絡調整をはじめ、ふるさと文化交流事業の開催や機関誌「あわじ」の発行等</p>	<p>〈第 41 回全淡短歌祭〉  開催日：令和 4 年 7 月 31 日（日）  場 所：洲本市立洲本図書館  参加者数：40 名</p> <p>〈第 46 回淡路島俳句大会〉  開催日：令和 4 年 11 月 13 日（日）  場 所：洲本市立淡路文化史料館  参加者数：57 名</p> <p>〈第 44 回淡路文学作品展〉  開催日：令和 4 年 11 月 25 日（金）  ～12 月 6 日（火）  参加者数：130 名  場 所：洲本市立淡路文化史料館  〈令和 4 年度兵庫県地域文化を考えるシンポジウム（淡路の地域文化を考える会）〉  開催日：令和 4 年 11 月 25 日（金）  場 所：洲本市文化体育館  参加者数：361 名</p> <p>〈文化情報誌「あわじ」〉  発行日：令和 5 年 3 月 15 日発行  発行部数：1,100 部</p>
----------	-------------------	--	---

## 6 文化・芸術活動の拠点としての機能強化

### (1) 但馬文教府「ふるさと交流館」の活用

可動式の間仕切りによりホール、中会議室、フィットネススタジオ等へ多目的に利用できるふるさと交流館を但馬地域の活動の拠点にして、文化・芸術活動、地域のグループ活動等を支援しました。

### (2) 淡路文化会館創立 50 周年記念事業の実施【新規】

生涯学習、文化・芸術活動、グループ活動等の地域拠点として開設（昭和 47 年）された淡路文化会館の創立 50 周年記念事業を実施しました。

## 7 経営の健全性・透明性の確保

令和 4 年度においては、いなみ野学園入学募集活動の推進、ラジオカレッジの入学要件緩和及び生きがい創造協会寄附の募集を推進するとともに、陶芸の村受講料の値上げや園芸センターの事業見直しを実施しました。

また、電気料金の値上げに伴い、県から財政支援措置が講じられました。

### (1) 自主財源等安定した収入の確保

#### ① 高齢者大学入学者の確保

応募者数が減少傾向にあることから、魅力的なカリキュラムの設定など、高齢者大学の魅力向上を図り、入学者定員の確保に努めました。

特に、いなみ野学園の運営について、「いなみ野学園運営懇話会」を引き続き開催し、より安心・安全な学習環境の確保とともに、ICT の活用も図りながら講座内容の一層の充実に取り組みました。

また、入学者募集の際に効果的な口コミによる周知を図るため、学生・卒業生等への高齢者大学に関する定期的な情報提供を行うほか、PR効果の高いホームページ、マスメディアの活用、近隣公民館や個別企業への訪問説明や企業関係団体への所属企業への案内依頼など、効果的なPR、認知度の向上に努めました。

② 適正な受益者負担の徴収

- ・協会事業に係る経費について、適正な受益者負担を求めました。

③ 寄付募集の推進

生きがい創造協会の各事業に充当する一般寄附及び「いなみ野学園多世代交流応援プロジェクト事業」に充当する「ふるさとひょうご寄附金」の寄附の募集を行いました。

実績：ア 兵庫県生きがい創造協会寄附 (単位:円)

用途		寄付者数	寄附額
1	地域・世代間交流事業	0	0
2	いなみ野学園	41	279,082
3	ひょうごラジオカレッジ	7	43,524
4	阪神シニアカレッジ	0	0
5	嬉野台生涯教育センター／うれしの学園生涯大学	13	94,000
6	但馬文教府／みてやま学園	0	0
7	西播磨文化会館／ゆうゆう学園	16	180,000
8	淡路文化会館／いざなぎ学園	1	10,000
9	ふるさとひょうご創生塾	1	22,196
10	協会が実施する事業	4	28,000
計		83	656,802

イ ふるさとひょうご寄附金 3名、402,000円

(充当先：いなみ野学園多世代交流応援事業)

④ オープンキャンパスの開催（いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

講座やクラブ見学等を入学希望者や地域住民に幅広く開放し、高齢者大学での学びや活動への理解を深めてもらう機会としました。

いなみ野学園

開催日	令和4年11月29日、12月2日、12月7日
対象者	入学希望者
参加者数	62名
場所	地域活動支援センター 外
内容	学園概要、入学案内、クラブ活動見学会

## 阪神シニアカレッジ

### (オープンキャンパス)【再掲】

開催日	令和4年8月3日
対象者	一般
参加者数	120名
場所	阪神シニアカレッジ大教室 ほか
内容	公開講座「阪神間と温泉文化」阪神シニアカレッジ学長 田辺真人 屋上農園見学、クラブ活動見学

### (オープンキャンパス)【再掲】

開催日	令和4年12月22日
対象者	一般
参加者数	100名
場所	阪神シニアカレッジ大教室 ほか
内容	「クリスマスふれあいコンサート」 NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは 若手演奏家4名、屋上農園見学、クラブ活動見学

## 嬉野台

開催日	令和4年11月8,9,22日、12月6日、令和5年1月10日、2月7日
対象者	うれしの学園生涯大学入学希望者
参加者数	185名
場所	嬉野台生涯教育センター
内容	学園祭(舞台発表、記念講演、芸能イベント)、専門講座、実践発表会、クラブ活動など

## 但馬

開催日	令和4年10月21日、28日、11月8日～11日、令和5年1月13日、27日、2月3日
対象者	一般県民及びみてやま学園入学希望者
参加者数	120名
場所	但馬文教府
内容	専門講座、教養講座、クラブ活動、学習発表会

## 西播磨【再掲】

開催日	令和5年1月20日
対象者	一般県民、高齢者大学学生
参加者数	高齢者大学学生 129名 一般 20名 計149名
場所	西播磨文化会館
内容	演題：「山城を歩く ―その魅力と楽しみ方―」 講師：滋賀県立大学名誉教授 中井 均

西播磨【再掲】

開催日	令和5年2月3日
対象者	一般県民、高齢者大学学生
参加者数	高齢者大学学生 119名 一般 43名 計 162名
場 所	西播磨文化会館
内 容	演題：『死ぬときに後悔すること 25』より生きるヒントをいただく 講師：安楽寺住職 佐々木 蓮乗

淡路

開催日	令和5年1月18日・25日（25日は中止）
対象者	入学希望者
参加者数	6名
場 所	淡路文化会館
内 容	学園概要、入学案内、クラブ活動見学会

⑤ 自主事業の収益の確保

ア 高齢者手づくりの店（協会本部）

高齢者が、趣味、創作活動として製作した手工芸品や民芸品、育成した野菜・花などを販売する場として、民間事業者に委託して運営しました。

- ・ 出品物 野菜、花き、果物、苗、菓子、手芸品など
- ・ 施設の概要 木造平屋建寄棟造 117.9 m<sup>2</sup>

イ 高齢者園芸センター（協会本部）

高齢者が土と親しみ作物を育てることを通じて健康を増進するとともに、地域や世代間の心のふれあいと交流を図る場として運営しました。

(7) 指導者付貸農園（ファミリーファーム）の運営

- ・ 区画数 448区画(16.5 m<sup>2</sup> ; 395区画、30 m<sup>2</sup> ; 14区画、32 m<sup>2</sup> ; 39区画)
- ・ 利用料 16.5 m<sup>2</sup> 7,200円/年  
30 m<sup>2</sup>及び32 m<sup>2</sup> 18,000円/年

ファミリーファーム総区画数		利用区画数
①16.5 m <sup>2</sup> /区画	395区画	228区画
②30.0 m <sup>2</sup> /区画	14区画	9区画
③32.0 m <sup>2</sup> /区画	39区画	36区画

(イ) 施設の概要

- ・ ファミリーファーム 11,620 m<sup>2</sup>      ・ 農 園 4,415 m<sup>2</sup>
- ・ 果樹園 6,330 m<sup>2</sup>      ・ 管理棟 176 m<sup>2</sup>

## ウ 高齢者陶芸の村（協会本部）

高齢者が作陶活動を通じて、仲間と共に生きがい創造する場として、会員の自主運営により実施しました。

### (7) 会員の入村・利用料等

- ・会 員 60 歳以上の者
- ・入村料 12,000 円 ・利用料 月額 5,000 円（3 月分前納）
- ・材料費・焼成費 内容に応じて設定
- ・作陶日：週 2 回（月・火と木・金の 2 班）  
指導員が作陶焼成等の指導にあたります。

### (イ) 地域への開放

地域の人々に施設を開放し、広く陶芸の普及と世代間交流を図りました。

- ・利用料 一人 1 日 700 円
- ・材料費・焼成費 内容に応じて設定
- ・指導員が作陶焼成等の指導にあたります。
- ・作陶日：毎週水曜日

### (ウ) 施設の概要

- ・敷地 2,820 m<sup>2</sup>、建物 720.78 m<sup>2</sup>
- ・作業棟 3 棟 451.11 m<sup>2</sup>、窯棟 3 棟 120.43 m<sup>2</sup>、乾燥棟 72 m<sup>2</sup>、その他 78.24 m<sup>2</sup>

### (エ) 利用料の値上げ

- ・令和 4 年 7 月分から月額利用料を 1,500 円値上げし、5,000 円としました。

## エ 貸館の試行実施（協会本部）

いなみ野学園の P R 及び施設の有効利用のため、いなみ野学園の教室について貸館（有料）の試行実施に取り組むこととしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で貸館を実施しませんでした。

- ・対象施設：ふれあい館に加え、大講堂、大教室、中教室
- ・貸館日時：月曜日～金曜日の 15:30～17:30（祝日、年末年始を除く）

## (2) 施設の改修による利便性等の向上

各施設の状況、所要経費等を勘案し、利用者の利便性・快適性を確保して利用者増を図るための施設改修を計画的に進めました。

## (3) 職員の適正配置等による運営

長期的視点で事業を計画的、継続的に執行することができるよう職員の適正配置等による運営を行うとともに、高齢者大学のクラス運営等のルーティン業務を運営サポーター等による自立的運営に移行するなど、高齢者が高齢者を支援する体制で運営を行いました。

#### (4) 協会事業の透明性確保・広報の充実

##### ① 協会事業の見える化

ア 協会ホームページで、組織・収支状況・経営方針・事業内容・イベント情報などを定期的に発信しました。

イ ニュースレター「生きがい通信」（協会本部）

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報などをニュースレターとしてホームページに掲載することにより、地域社会への貢献についての県民の意識啓発を図るとともに協会事業の内容を積極的に発信しました。

・発信回数 年3回（令和4年8月、令和5年1月、3月）

##### ② マスメディアとの連携

ラジオや新聞等のマスメディアの協力を得ながら、当協会及び協会事業の知名度向上を図りました。

ア 記者発表等マスメディアの積極的活用の推進

本庁及び県民局の定例記者会見や月間広報計画などの広報媒体を活用し、各高齢者大学の入学生募集をはじめ各種事業のPR活動を積極的に推進しました。

・高齢者大学入学募集、放送大学学生募集、オープンキャンパス、短期集中講座、しごと活躍講座、聴講講座、兵庫県公民館大会など

##### ③ いなみ野学園情報の制作・発信（いなみ野）

地域ケーブルテレビ局「BAN-BAN テレビ」の協力を得て、大学院講座学生等の自主制作による動画を放映している番組「播磨まちかどニュース with いなみ野学園」への応援を行うとともに、動画の内容や学園行事等のニュースを紙面で紹介する「瓦版」を発行し、学園の活動や魅力について情報発信に努めました。

・動画放送番組数：年24本（月2回）

・瓦版発行回数：年12回

##### ④ ホームページの運営（全施設）

可能な限りの情報公開を目指すとともに、わかりやすく、親しみやすい、身近に感じてもらえる施設像の情報発信に努めました。

#### (5) 経営改善の推進

経営改善を推進するため、その推進体制を運営するとともに、事業の廃止・縮小、業務執行体制の見直し、事務経費節減等に取り組むとともに、いなみ野学園をはじめ協会実施事業の魅力向上に取り組みました。

取組み事例	内容	効果
いなみ野学園入学募集活動の推進	・地元企業等(神鋼、川重)への働きかけ ・近隣市町高齢者大学へのPR	入学者21名増256名⇒277名 (陶芸専修コース含む)
ラジオカレッジの入学要件緩和	・入学資格の撤廃(年齢・居住地要件)	本科生132名(R3) ⇒164名(R4)
生きがい創造協会寄附の募集推進	・積極的な寄付募集活動の展開	77名571,621円(R3) ⇒83名656,802円(R4)
陶芸の村利用料の値上げ	・令和4年7月分から値上げ実施 (月3,500円⇒5,000円)	R3収支 -1,459千円 R4収支 -995千円



## 8 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた適切な対応

新型コロナウイルスの感染が続くなか、「新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針」に基づき、県関係部局とも連絡を密にして、感染状況の推移に応じて、その感染拡大防止のための対策の実施に機動的かつ適時適切に取り組みました。

### [具体の取組み]

- ・ 学園生による清掃・消毒、換気の徹底
- ・ 園内放送による昼食時の黙食の注意喚起
- ・ 職員による共用部分・執務場所等の清掃・消毒、換気の徹底
- ・ 分散教室による講座実施
- ・ 自宅でのリモート受講（希望者向け）

など